

たまたに、母校を思い出そう

# 岡山白陵 同窓会報



発行：岡山白陵同窓会  
〒709-0715 岡山県赤磐市勢力 588  
TEL:086-995-1255

## CONTENTS

- ごあいさつ ..... 2
- 同窓会だより ..... 3
- 校舎建替寄付金ご協力者ご芳名 ..... 4,5
- 旧校舎の思い出 ..... 6,7  
大森博幸教頭先生、木村和史先生
- 寄付金募集要項 ..... 8
- 会員名簿発刊について、原稿募集 ..... 8
- 編集後記 ..... 8



寄付号  
平成24年3月15日





会長  
大津 正和  
MASAKAZU OTSU

## 絆を示そう

これまでも会報でお知らせいたしましたように、岡山白陵では現在新校舎の建設が進められております。現在では、新校舎が、その立派な姿を現しています。今年の夏には完成し、秋からは真新しい学舎で後輩たちがそれぞれの目標に向かって、勉学に取り組む姿が見られるようになるとうかがっております。

さて、1年前の東日本大震災や17年前の阪神淡路大震災をはじめ、いくつもの地震災害を経験して、地震国である日本に住む私たちは常日頃からの自然災害への備えがいかに重要なのかを学びました。建物の耐震基準も、年々高度になってきており、多くの有為の若者たちが学ぶ校舎は、何よりも災害への耐性を備えることが求められます。多くの同窓生には思い出が詰まっていたのですが、旧校舎ではその任に耐えられないとして、校舎の建て替えが始まりました。資金面のみならず、建て替え中の仮設教室での授業などを考えると、学校としては大変な決断だったと思います。私たち同窓生は、先生方や在校生たちの努力にエールを送りたいと考えます。

私たちが在学中に、岡山白陵が地震の被害に遭わなかったことは、幸運だったのかも知れませんが、そのことに感謝しながら、後輩である若い人たちが安心して学校生活を送れる学舎が完成することを祝い、応援しようではありませんか。岡山白陵で学んだという共通点で繋がった様々な世代の絆を示そうではありませんか。といっても、そんなに大きなことができるわけではありませんが、少しでも私たちが応援していることを示すことができればと思います、会員の皆さまに寄付のお願いをいたしております。既に、たくさんの仲間から多くの寄付が届いています。心からお礼申し上げます。また、忙しさに紛れてまだの皆さんも、これを機会に、ぜひご協力をお願いいたします。

## 会長挨拶

## 校舎新築建替に係るお願い

## 校長挨拶

同窓生の皆様には平素より本学園の充実発展のために格別のお力添えを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

前会報でもご案内申しあげましたように、本校では現在、昨年の4月より校舎の建て替えをしているところです。この校舎建て替えにつきましては、ご存知のように本校校舎が築35年を既に経過して手狭となり、老朽化と耐震強度などの問題を抱えておること、また近年、関係監督より学校に対して耐震補強対策を求められていること等に鑑み、生徒たちにとってより安全で快適な環境づくりのためには、この際、思い切って教室棟の全面的改築をすることが相応しいと判断した結果であります。

新しい校舎は鉄筋コンクリート5階建て延べ床面積約7,200㎡で、旧校舎の約2倍の広さとなります。現在4階の躯体工事中で、建設も順調に進んでおり7月には完成する予定となっております。竣工の暁には美まし丘に聳え立つ学舎として岡山白陵の新しいシンボルとなることと確信しています。

ところで、本学園ではこの歴史的な事業を推し進めるにあたり学園独自の資金計画を立てておりますが、なにぶん旧校舎解体、仮設校舎建築、周辺整備を含め、約19億円の資金が必要と試算しておりましたが、東日本大震災の復興に伴う建築資材の高騰等もあり、当初予想した事業費を大きく上回る資金が必要となっております。

つきましては、本事業遂行のため資金面におけるご協力方について、皆様の深いご理解と力強いご支援をお願い申し上げます。

校舎が完成した暁には、是非お立ち寄りいただき、母校の新たな雄姿を見ていただくとともに、後輩たちを激励していただけたらありがたく思います。



校長  
石原 元秀  
MOTOHIDE ISHIHARA

## 同窓会だより

## 後輩のために一肌脱ぎました



毎年行っている東大オープンキャンパスへの参加ですが、今回は震災の影響で12月23日開催となりました。前日の22日には宿泊先のホテルへ30期生の駒井君、三浦君、矢村君、御船君、山田さん、寺本君の6名の同窓生が応援に駆け付け、後輩を叱咤激励してくれました。生徒の感想を見ても、直接の先輩がいろいろな経験談を話してくれたことがありがたかったようです。また発奮もさせられたとありました。こういったことも同窓会活動の一環として続けていけたらと思います。

## 167名の新同窓生をお迎えしました!



立春を過ぎたとは言え、寒さ厳しい2月18日、第34回岡山白陵高等学校卒業式が厳粛に、そして盛大に挙行されました。石原校長先生から卒業証書を受け取った167名の卒業生が、3年間あるいは6年間学んだ学び舎



を巣立ちました。昼からは熊山に雪がひらめき、卒業生の前途を祝すように、また名残を惜しむかのようには舞っていました。

34期生の新卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、ようこそ、同窓会へ!同窓会では年1回の同窓会報の発行や4年に1回の同窓会名簿の作成などを通じて、同級生同士だけではなく、在校時が重ならない岡山白陵同窓生ファミリーをも結びつけるお役にたてたら、と活動をしています。卒業しても岡白生だったことは変わりません。これからも、いろんなところで繋がっていきましょう!!

今年新たに34期生をお迎えすることは、同窓会にとっても一つの節目となります。そう、卒業生が、今年で5,000名を超えたのです!母校を巣立ってから本当に様々な方面で活躍していらっしゃる同窓生の方々。この節目を機会に私たちのつながりもさらに深く強く、パワーアップしていけたらと願っています。



お世話になった先生方 謝恩会にて



# 校舎建替寄付金ご協力者ご芳名

校舎新築工事を支えてくださった皆様、本当にありがとうございます。



- 10口 浦上 雄二郎 (8期)
- 永原 琢朗 (9期)
- 5口 平田 龍市 (5期)
- 田中 祥雅 (6期)
- 河本 純一 (9期)
- 川崎 正弘 (10期)
- 中柄 千明 (12期)
- 二ノ丸 平 (26期)
- 3口 平 資正 (1期)
- 中村 俊基 (6期)
- 高田 佳宜 (4期)
- 呉本 慶浩 (14期)
- 根木 快 (19期)
- 中村 貴洋 (20期)
- 三宅 智博 (20期)
- 山根 千佳 (28期)
- 2口 入江 寛 (5期)
- 安積 啓 (10期)

- 重村 禎昭 (10期)
- 高橋(池上)奈津江 (14期)
- 太田 貴之 (16期)
- 石田 整 (20期)
- 松葉 卓郎 (20期)
- 八代 真由子 (23期)
- 小河 七子 (26期)
- 小河 奏子 (29期)
- 伴 久仁彦 (30期)
- 1口 大西 修 (1期)
- 佐藤 寿幸 (1期)
- 藤田 俊和 (3期)
- 山本 芳男 (4期)
- 田村 知子 (5期)
- 寺田 善彦 (5期)
- 水垣 篤 (6期)
- 吉藤 真仁 (6期)
- 嶋田 繁 (7期)

- 竹内 敦人 (7期)
- 土屋 博訓 (7期)
- 森口 康弘 (7期)
- 行方 淳一 (8期)
- 濱口 太久未 (8期)
- 浜本 八志良 (8期)
- 山本 道代 (8期)
- 橋本 誠一 (9期)
- 原田 耕太郎 (9期)
- 藤田 英夫 (9期)
- 西林(川田)素子 (10期)
- 松本 秀暢 (10期)
- 松本 康宏 (10期)
- 村木(高橋)広治 (11期)
- 中安 崇之 (11期)
- 相川 恵秀 (12期)
- 川原 敏徳 (12期)
- 国富 彩 (12期)

- 安井 慶之 (12期)
- 尾山 義信 (13期)
- 土手 昭伸 (13期)
- 保科 英人 (13期)
- 山口 剛 (14期)
- 魚住 洋一 (15期)
- 田中 秀和 (15期)
- 土手 秀昭 (15期)
- 仁科 雄一朗 (15期)
- 山下(原田)和香子 (15期)
- 芳西(武川)若菜 (17期)
- 井畑 陽平 (18期)
- 片山 茂郎 (19期)
- 小林 宏瑞 (20期)
- 園井 教裕 (20期)
- 齋藤(渡邊)啓太 (20期)
- 奥山 倫弘 (21期)
- 南部 志穂 (22期)

- 西岡 由紀 (24期)
- 佐藤 博紀 (25期)
- 高亀 弘隆 (25期)
- 谷川 裕典 (25期)
- 大井 勝臣 (26期)
- 笹井 俊太郎 (26期)
- 佐藤 晶子 (26期)
- 菊池 れい子 (27期)
- 清水 俊匡 (27期)
- 高亀 武弘 (27期)
- 富田 昂 (27期)
- 廣島 慎也 (27期)
- 柴本 愛子 (28期)
- 神田 佳洋 (28期)
- 金沢 輝代士 (28期)
- 松野 潤 (28期)
- 藤原 加奈子 (28期)
- 高田 実里 (29期)

- 田淵 友子 (29期)
- 西岡 亜希 (29期)
- 野々村 昌樹 (29期)
- 深澤 景光 (29期)
- 丸山 真実 (29期)
- 吉田 賢司 (29期)
- 大森 貴宏 (30期)
- 後藤 有基 (30期)
- 小牧 美久 (30期)
- 田中 マリ子 (31期)
- 水野 初音 (31期)
- 高田 貴大 (32期)
- 高田 一有 (19期)

※平成24年2月22日現在、学校にご寄附が届いた方のお名前を掲載させていただいております。



# 旧校舎の思い出

## 美まし丘 美まし学舎

教頭 大森 博幸

岡山白陵の卒業生が今春5,000名を超えました。創立以来36年間、生徒、保護者の方々、教職員一体となって地道に歴史を築いてきました。創設者三木省吾先生が急逝した昭和58年7月から丸29年になる今夏、新しい校舎が完成することは、勤務32年目となる私にとっても大変感慨深く非常に嬉しいことです。

さて、同窓会、結婚式等に招かれて、様々な年代の卒業生に会うと、中には私よりも年上に見えるような教え子もいますが、精神的にはいつまでも先生と生徒の関係が続いているようで、話をするといつの間にかお互い当時の顔に戻ります。卒業してからもずっと心の中に「岡山白陵」が生きて続けているようです。「あの時の先生のあの言葉があったからこそ今の自分があります。」と、お世辞であったとしても語ってくれる時、「この岡山白陵ですって仕事をしてきて良かったな・・・」と、思わず目頭が熱くなります。生徒の日々の努力、保護者の方々のご協力によって支えられてきた30年余り、教えていたつもりがいつの間にかたくさんを教えられてきたようにも思います。

校舎が新しくなっても学校の根本精神、理念はずっと変わりません。広々とした新しい校舎で伸び伸びとした授業をすることで更なる生徒のレベルアップを図ります。心身ともに健全で広い視野と洞察力を持った「真のエリート」の育成を使命とし、人間力向上に全力を注ぎます。混沌とした今の時代だからこそ「岡山白陵」の存在価値がより高まってくるものと信じています。

さて、親子ともに岡山白陵の卒業生、つまり卒業生の子弟が入学し卒業していくケースが年々増えています。我々教職員にとってこの上なく喜ばしいことです。校舎建築のための寄付とあわせて、ご子弟の入学を大いに期待しています。

末筆ながら、卒業生諸氏の今後のご活躍、ご多幸を心から祈念いたします。これからも母校へのご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



東京出張時に22期生と新宿で



## 岡山白陵の風景

中学部長 木村 和史



同窓会の皆さん、お元気ですか？岡山白陵に昭和55年に勤め始めてから早30有余年となる木村です。現在は中学部長とともに中学2年の学年主任をしていますが、思い出深い旧校舎が取り壊されて新校舎の建築工事が進む中で、岡山白陵の風景について少し述べてみたいと思います。

私が勤め始めた頃の岡山白陵は創立からまだ4年目で、教室棟も3階建ての旧館のみ、中学は1学年に1クラス、高校は1学年3クラスでした。体育館や教室棟新館はまだ無く、新館の所には確か古墳がまだ残っていたように思います（創立5周年記念事業で体育館建設、10周年記念事業で新館建設、その後20周年記念行事で管理棟建設、30周年記念行事で体育館改修など実施）。その頃、私がいちばん気に入っていた風景は、校舎から眺める熊山の景色でした。山々に囲まれた中に吉井川が流れ、それに沿うように山陽本線があって電車が熊山駅を発着している様子はまるで箱庭を見るようで、時間があればボーッと見とれていたものでした。しかし、その風景も私自身の老化現象が進むとともに、年がたつにつれて変化してきました。吉井川に架かる橋は新しくなり、河川敷には「水辺の楽校」という謎めいた公園が出来、校舎から見て西の方角の採石場となっていた山は消え去りましたが、逆に熊山駅の駅舎は相変わらずの姿で文化財然としています。そして、朝方に吉井川にかかるかすみに浮かぶ校舎、夕方に西日に照らされる校舎の風景も相変わらず美しいものがあります。このように岡山白陵をとりまく風景は、大きな変化があれば変わっていないものもあります。

同じように、旧校舎には卒業生の数だけ思い出が詰まっていたはずですが、机と椅子が一体化し清掃しにくかった木机、校務員室前で販売していたプチデュークの50円のホットドッグ、旧館1階の教室・廊下の床に何故かあったひとすじの色違いのタイルの帯などなど、卒業生一人一人に懐かしいものが数えればきりが無いほどあったと思います。

そして、今後新校舎で学んでいく生徒は、この新校舎に自分たちの思い出を刻みながら新しい岡山白陵の歴史を作っていくことになるでしょう。しかし、そのような旧校舎から新校舎へと岡山白陵をとりまく風景としての教室棟は変化しますが、卒業生が営々と育ててきた岡山白陵の内なる風景つまり伝統は変わることなく受け継がれていくことと思います。今までも学校施設の建築を行なうことを節目にして、伝統を守りつつ脱皮しながら発展してきた岡山白陵ですから、卒業生である同窓会の皆さんには、今後も伝統を引き継いでいく後輩を見守っていただくと同時に、母校のさらなる成長のために様々な面で協力をお願いします。



なつかしの教室



屋上から熊山橋をのぞむ



「さよなら校舎！」お別れの会



## 岡山白陵の更なる飛翔を、ご支援ください!!

# 校舎建替 寄付金のお願い

この寄付金募集は、母校を支援するため岡山白陵高校同窓会が同窓会員を対象として行い、会員からの寄付をまとめて岡山白陵中学校・岡山白陵高等学校の校舎新築建て替え資金として学校法人三木学園へ寄付します。

**募金 1口 10,000円**

できましたら複数口のご協力をお願いいたします。  
1口未満でもありがたくお受けします。

### 申込方法

お振込みの際には、同封の振込用紙をお使い  
いただくか、郵便局から次の口座へお振込み  
下さい。

**口座番号：01270-8-13591**  
**加入者名：岡山白陵同窓会**

※なお、このお願いは平成23年度中に既にご寄付くださった方に再度のお願いをするものではありません。

※この寄付金は税法上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

平成23年度税制改革により、学校法人三木学園に対する寄付金が「税額控除方式」の対象となることが認められました。これにより、従来の「所得税控除方式」(B)が「税額控除方式」(A)かのどちらか一方を寄付者が選択して所得税の控除を受けることができます。

#### A 税額控除方式

寄付金控除額 = (税額控除対象寄付金 - 2千円) × 40%

※税率に関係なく所得税額から直接控除するため、既存の所得税控除と比較してほとんどの寄付について減税効果が大きくなります。

※年間の寄付金額の合計額が年間総所得の40%を超える場合は、40%相当額が限度となります。

※寄付金控除額は所得税額の25%が限度となります。

#### B 所得税控除方式

所得税額 = (課税所得 - ①寄付金控除額) × 税率(5%~40%)

①寄付金控除額 = (特定公益増進法人への寄付金額 - 2千円)

※年間の寄付金の合計額が年間所得の40%を超える場合は、40%相当額が限度となります。

※個人の所得金額によって税率は異なります。

※寄付金控除を受ける手続きは寄付された翌年の確定申告で行いますが、その際、領収書と寄付金控除に係る証明書(写)が必要です。これらが必要な方はゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「証明書必要」とお書き添えください。

### 会員名簿発刊 調査開始!

同窓会では、4年に1度会員名簿を発刊しております。平成24年は、その改訂の年となり、平成24年11月には発刊の予定で調査をスタートいたしました。

会員名簿の調査から印刷・製本・発送に至るまでの作業につきましては、前回同様小野高速印刷株式に委託いたしました。同封させていただいております返信ハガキをご確認の上、変更のあるなしに関わらず**必ずご返送下さい**ますようお願いいたします。

尚、ご返信を頂けなかった会員様には後日小野高速印刷株式より電話での確認作業を行わせて頂きますので何とぞご了承ください。皆様のご理解ご協力のほどお願いいたします。また、名簿のご購入、広告のご協賛も併せてご協力下さいますようお願いいたします。



FAX 0120-81-2299(24時間受付) ※ FAXでも通信を受け付けます。

調査に関する  
お問い合わせ

TEL:0120-66-7754(平日9:00~16:00)  
FAX:0120-81-2299(24時間受付)  
E-mail:meibo@dousou.info

#### ご注意!

同窓会とは関係のない業者から名簿発刊の案内があったと報告がございます。文面には「同窓会とは関係ございませんが・・・」などと書き込まれているようですが、十分ご注意の上ご対応ください。同窓会は、**小野高速印刷株式のみ**へ委託しております。

### 原稿募集

ご紹介  
下さい!

事務局では、今後も会員の方々のいろいろな情報を掲載し、会員相互の情報交換の場にしていきます。

- ・同期会、クラス会、OB会の報告
- ・旅行記、修学旅行、入学式、高校時代の思い出
- ・卒業生のご活躍の方々、お店の紹介
- ・同期会等の開催告知 etc...



まずは、同窓会事務局まで、郵送又はメールでお寄せ下さい。尚、紙面の都合上、掲載できない場合もございますので、ご了承下さい。

## 岡山白陵同窓会

〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588 TEL:086-995-1255

学校ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/> 同窓会ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/dk>

E-mail [dousoukai@okahaku.ed.jp](mailto:dousoukai@okahaku.ed.jp)

## 編集

Editor's note

## 後記

今回も沢山の方のご協力のもと、この寄付号を発行することができました。快く原稿を引き受けてくださった先生方、多額の寄付をお寄せくださった同窓生の皆さん、数々の写真や原稿を提供してくださった校内幹事の先生方、そして、小野高速印刷の皆さん。感謝申し上げます。

寄付号は寄付をお寄せくださった方、また、これから寄付をしてやろうとお考えの方への感謝の特別号で

す。校舎の新築がなった暁には、今冬に発行予定の第18号で、改めてその全貌を詳しくご紹介いたします。どうぞお楽しみに!

また、今回の会報には会員名簿作成のための調査カードを同封いたしました。この調査は母校岡山白陵と皆さん、また同窓生の方同士をおつなぎするものとなります。どうぞ、ご協力のほどをよろしくお願いたします。